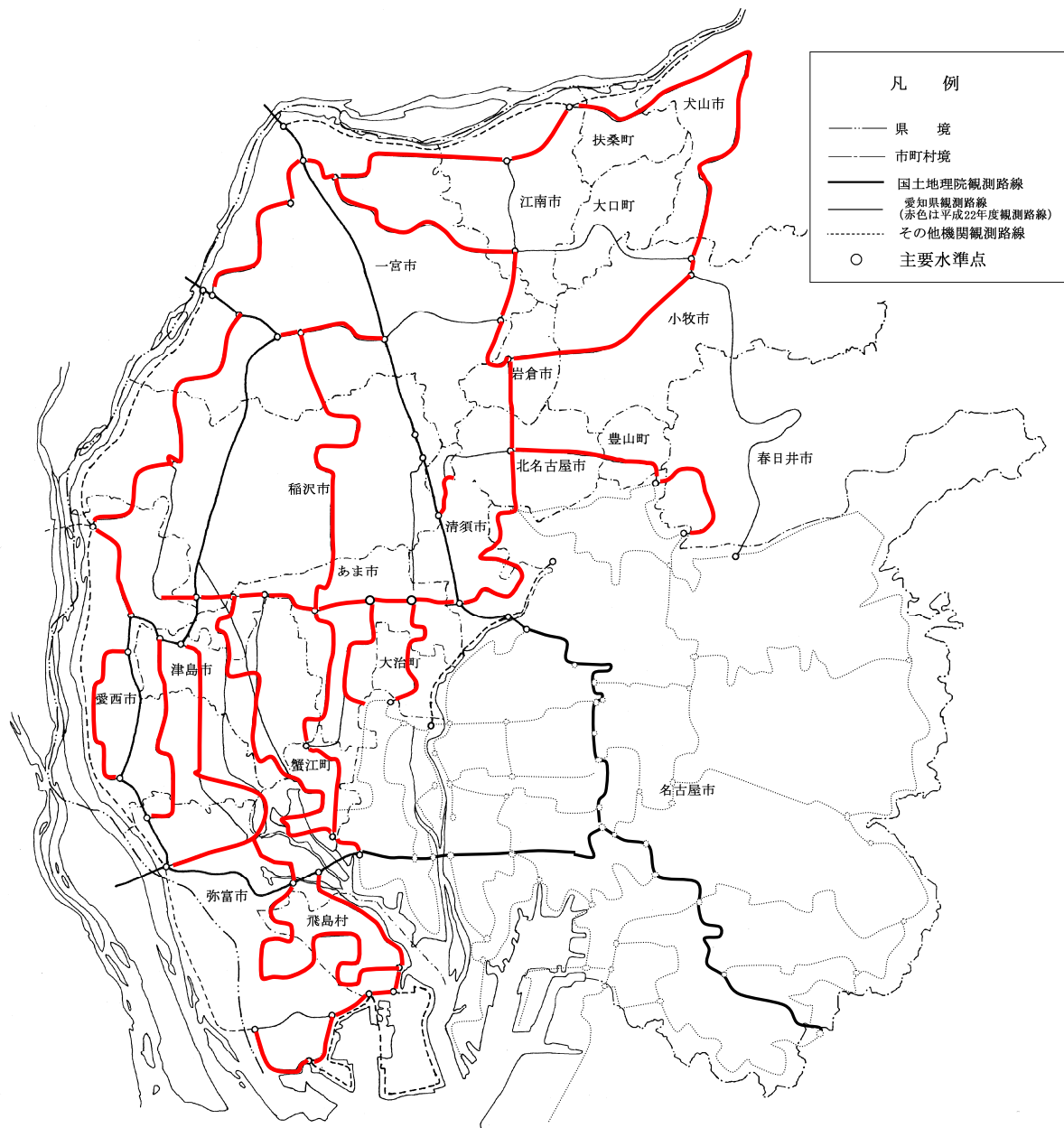


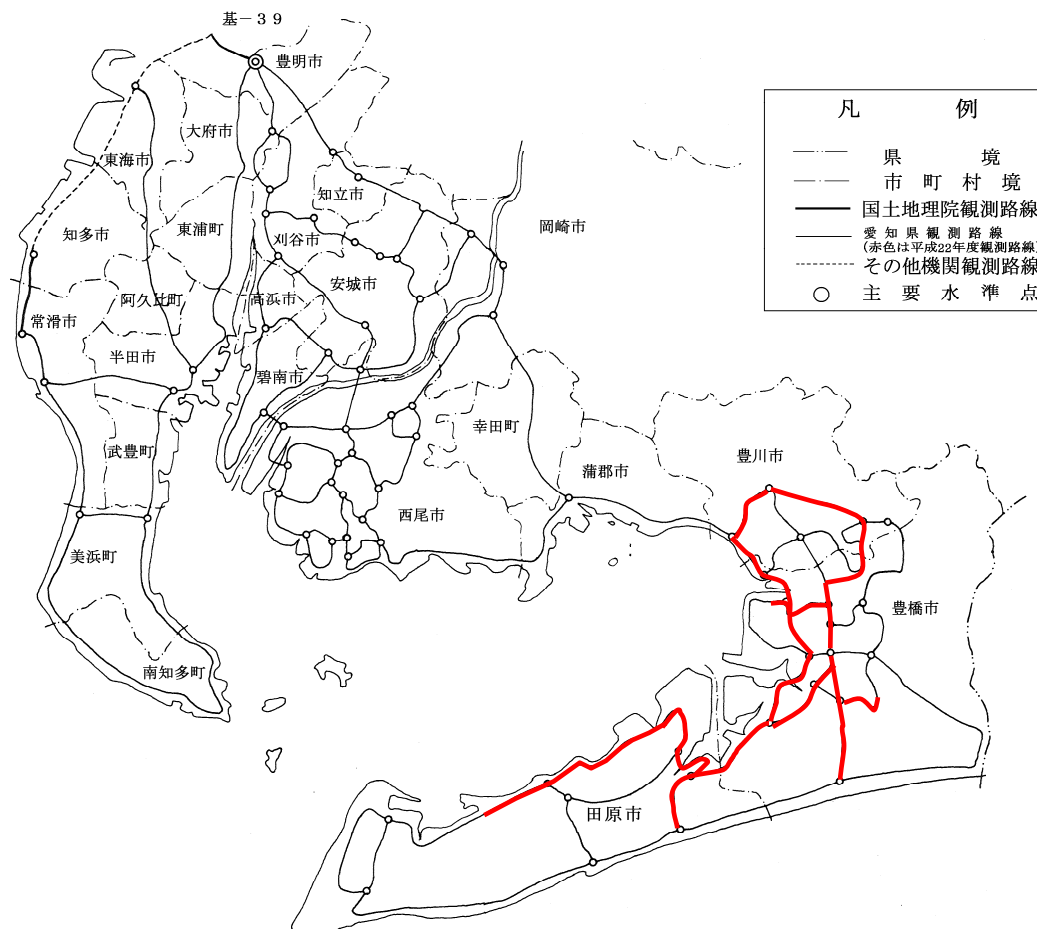
5 資 料

資料－1	水準測量観測路線図	
(1)	尾張・名古屋市地域	25
(2)	知多、西三河、東三河地域	26
資料－2	平成22年市町村別水準点変動状況	
(1)	尾張・名古屋市地域	27
(2)	東三河地域	28
資料－3	地盤沈下観測所の設置状況及び施設概要	
(1)	地盤沈下観測所の設置状況図	29
(2)	地盤沈下観測所等の設備概要	30
資料－4	平成22年地下水位・地盤収縮量変動状況	
(1)	尾張地域	33
(2)	西三河、東三河地域等	35
資料－5	平成22年度地下水揚水量の内訳並びに事業所数及び井戸（揚水設備）数	
(1)	平成22年度地下水揚水量の内訳	37
(2)	工業用水法及び県民の生活環境の保全等に関する条例に係る事業所数 及び井戸（揚水設備）数	38
資料－6	平成22年降水量の状況	39
資料－7	西三河及び知多地域の地盤沈下調査結果	40
資料－8	地盤沈下対策	46

資料－1（1） 水準測量観測路線図（尾張・名古屋市地域）



資料 - 1 (2) 水準測量観測路線図 (知多、西三河、東三河地域)



資料－2（1） 平成22年市町村別水準点変動状況（尾張・名古屋市地域）

区 分	有効 水準点数	沈下 点数	変 動 量 (mm)			変 動 状 況 (点 数)			
			平 均	最大 (-)	最低 (+)	-2cm 以上	-2 ～ -1cm	-1未満～0cm	0cm 以上
名古屋市	257 (340)	9 (284)	+4.0 (-1.8)	-2.9 (-8.6)	+9.1 (+5.1)			9 (284)	248 (56)
一宮市	44 (45)	0 (45)	+5.4 (-4.5)	+1.2 (-9.3)	+7.4 (-1.6)			0 (45)	44 (0)
春日井市	5 (5)	0 (5)	+6.0 (-2.6)	+5.2 (-3.1)	+7.0 (-2.0)			0 (5)	5 (0)
津島市	13 (14)	0 (14)	+1.8 (-1.4)	+0.0 (-4.0)	+4.1 (-0.1)			0 (14)	13 (0)
犬山市	5 (4)	0 (4)	+4.1 (-8.0)	+3.2 (-8.7)	+5.1 (-7.2)			0 (4)	5 (0)
江南市	13 (15)	0 (15)	+5.6 (-7.1)	+2.4 (-9.4)	+7.1 (-3.9)			0 (15)	13 (0)
小牧市	8 (8)	3 (8)	+2.4 (-4.2)	-1.3 (-6.3)	+5.2 (-2.1)			3 (8)	5 (0)
稲沢市	33 (34)	1 (34)	+3.9 (-2.4)	-2.3 (-4.3)	+6.5 (-0.5)			1 (34)	32 (0)
岩倉市	4 (5)	0 (4)	+2.6 (-2.0)	+0.4 (-3.7)	+4.4 (+0.9)			0 (4)	4 (1)
愛西市	54 (54)	6 (49)	+2.6 (-2.6)	-7.0 (-8.3)	+6.8 (+0.7)			6 (49)	48 (5)
清須市	11 (11)	0 (6)	+3.3 (-0.6)	+0.1 (-3.8)	+4.7 (+1.4)			0 (6)	11 (5)
北名古屋市	3 (3)	0 (3)	+3.2 (-3.9)	+2.5 (-5.2)	+3.6 (-2.4)			0 (3)	3 (0)
弥富市	39 (40)	0 (36)	+6.0 (-1.4)	+1.1 (-5.7)	+10.7 (+1.1)			0 (36)	39 (4)
あま市	17 (17)	0 (10)	+2.7 (-0.6)	+0.3 (-4.4)	+5.0 (+1.1)			0 (10)	17 (7)
豊山町	2 (2)	0 (2)	+4.5 (-5.2)	+4.5 (-5.2)	+4.5 (-5.1)			0 (2)	2 (0)
大口町	— (1)	— (0)	— (+0.0)	— (+0.0)	— (+0.0)			— (0)	— (1)
扶桑町	2 (2)	0 (2)	+5.1 (-7.5)	+5.0 (-7.6)	+5.2 (-7.5)			0 (2)	2 (0)
大治町	4 (4)	0 (4)	+3.8 (-1.9)	+2.5 (-2.8)	+5.4 (-0.8)			0 (4)	4 (0)
蟹江町	12 (11)	0 (10)	+3.3 (-2.0)	+1.5 (-4.6)	+5.1 (+0.0)			0 (10)	12 (1)
飛島村	29 (29)	0 (26)	+8.6 (-1.9)	+3.4 (-6.0)	+12.8 (+1.5)			0 (26)	29 (3)
合 計	555 (644)	19 (561)	+4.2 (-2.8)	-7.0 (-9.4)	+12.8 (+5.1)	— —	— —	19 (561)	536 (83)

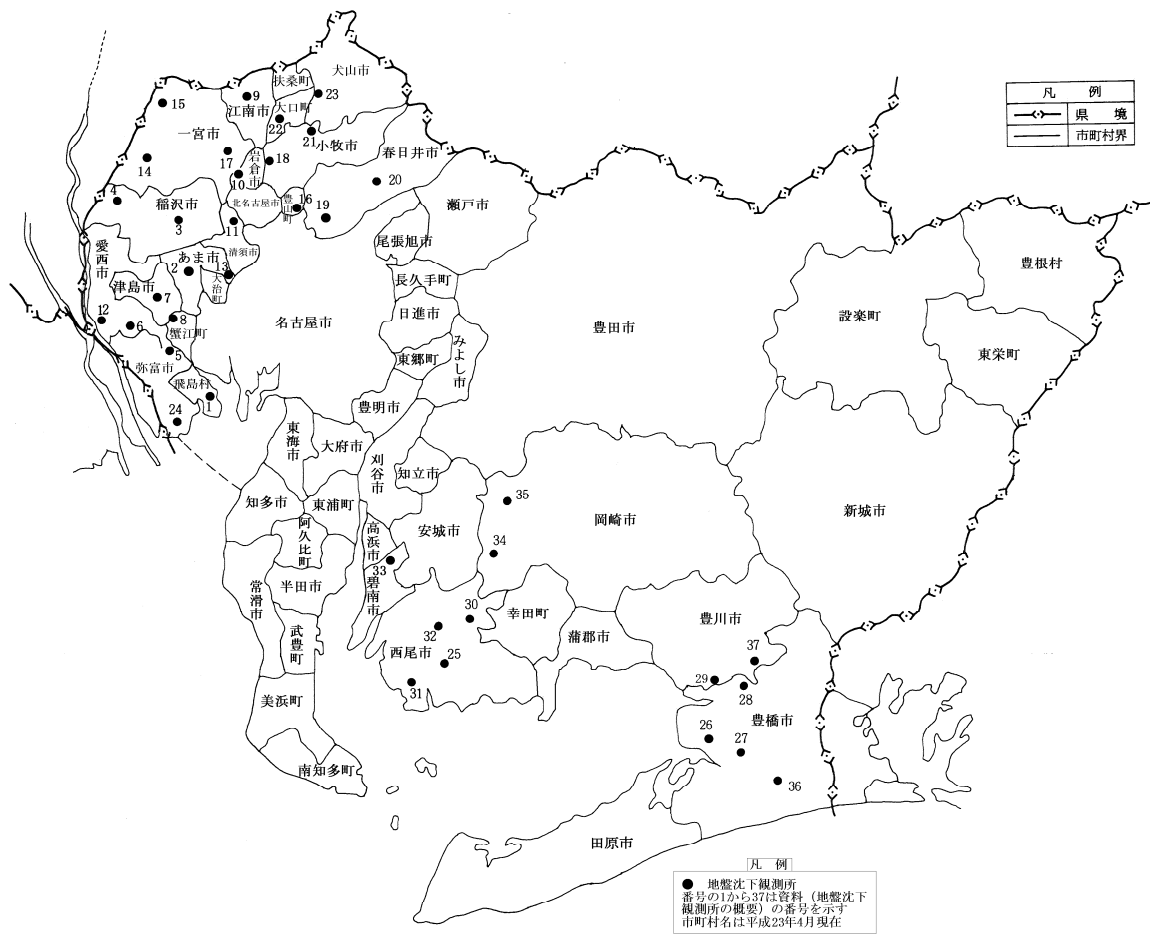
注) () 内は、平成21年数値

資料－２（２） 平成 22 年市町村別水準点変動状況（東三河地域）

区 分	有 効 水準点数	沈 下 点 数	変 動 量 (mm)			変 動 状 況 (点 数)			
			平 均	最 大 (-)	最 低 (+)	-2cm 以 上	-2 ～ -1cm	-1未満～0cm	0cm 以 上
豊 橋 市	42 (66)	21 (11)	-0.1 (+1.4)	-4.4 (-1.1)	+1.7 (+5.9)	— —	— —	21 (11)	19 (55)
豊 川 市	15 (16)	3 (4)	+0.4 (+0.0)	-0.5 (-6.2)	+1.5 (+1.9)	— —	— —	3 (4)	12 (12)
田 原 市	11 (37)	1 (0)	+0.9 (+4.1)	-1.0 (+0.0)	+1.9 (+7.5)	— —	— —	1 (0)	10 (37)
合 計	68 (119)	25 (15)	+0.2 (-1.7)	-4.4 (-6.2)	+1.9 (+7.5)	— —	— —	25 (15)	41 (104)

注) () 内は、平成18年数値

資料-3 (1) 地盤沈下観測所の設置状況図



資料－3（2） 地盤沈下観測所等の設備概要

I 地盤沈下観測所（尾張地域）

区分	観測所名	所在地	水位計 (台)	沈下計 (台)	帯水層（深度：m）				設置年度
					G 1	G 2	G 3	不圧	
1	飛島	飛島村	3	3	50	150	300		昭和48年度
2	美和	あま市	4	3	40	125	300		昭和49年度
								10	平成17年度
3	稲沢	稲沢市	4	3	50	130	260		昭和50年度
								7	平成22年度
4	祖父江	稲沢市	4	3	64	135	301		昭和50年度
								5	平成18年度
5	十四山	弥富市	4	3	55	163	307		昭和51年度
								10	平成17年度
6	佐屋	愛西市	3	3	64	147	263		昭和52年度
7	津島	津島市	4	3	54	144.5	300		昭和52年度
								7	平成22年度
8	蟹江	蟹江町	4	3	59	143.5	281		昭和52年度
								7	平成22年度
9	江南	江南市	2			36	100		昭和52年度
								昭和53年度	
10	岩倉	岩倉市	3	1		150			昭和52年度
							37	54	
11	春日	清須市	3	3		150			昭和52年度
							27	90	
12	立田	愛西市	3	3	72	175	303		昭和53年度
13	甚目寺	あま市	3	3	34	106	170		昭和53年度
14	尾西	一宮市	3	3	40	159	200		昭和53年度
15	木曾川	一宮市	2			90	200		昭和53年度
16	豊山	豊山町	3			100			昭和53年度
							13	50	
17	一宮	一宮市	3		40	100	200		昭和54年度
18	小牧第一	小牧市	2			60	115		昭和54年度
19	春日井第一	春日井市	3		40	149	168		昭和55年度
20	春日井第二	春日井市	2			60	125		昭和55年度
21	小牧第二	小牧市	1		30				昭和55年度
22	大口	大口町	2		27		108		昭和55年度
23	犬山	犬山市	3		40		62		昭和55年度
								13	平成20年度
24	弥富	弥富市	3	3	60	99	325		昭和59年度

II 地盤沈下観測所（西三河、東三河地域）

区分	観測所名	所在地	水位計 (台)	沈下計 (台)	帯水層（深度：m）		設置年度
					浅層	深層	
25	吉良	西尾市	2	2	12	52	昭和51年度
26	豊橋第一 (豊橋市管理)	豊橋市	2	2	47	86	昭和54年度
27	豊橋第四 (豊橋市管理)	豊橋市	1			200	昭和54年度
28	豊橋第二 (豊橋市管理)	豊橋市	2			150	昭和54年度
					63		昭和56年度
29	小坂井	豊川市	1		58		昭和60年度
30	西尾第一	西尾市	2	2	12	36	昭和55年度
31	一色	西尾市	2	2	31	86	昭和55年度
32	西尾第二	西尾市	2	2	48	71	昭和56年度
33	碧南	碧南市	2	2	48	97	昭和57年度
34	岡崎第一 (岡崎市管理)	岡崎市	2	2	47	65	昭和57年度
35	岡崎第二 (岡崎市管理)	岡崎市	2		38	60	昭和58年度
36	豊橋第三 (豊橋市管理)	豊橋市	2		70	90	昭和59年度
37	豊川	豊川市	2		50	96	昭和60年度

III 帯水層別観測機器数

区分	帯水層種別	水位計(台)	沈下計(台)
尾張	不圧	7	0
	G 1層	20	13
	G 2層	21	13
	G 3層	23	14
	小計	71	40
西三河	浅層	7	6
	深層	7	6
	小計	14	12
東三河	浅層	5	1
	深層	5	1
	小計	10	2
合計		95	54

注1) G 1、G 2、G 3層とは、濃尾平野の砂礫層を指し、地表より順に第一、第二、第三砂礫層と称し、利用可能な地下水が多く含まれる地層。

注2) 浅層と深層とは、同一観測所において2箇所の砂礫層で測定しているものの区分。

IV 他機関観測井(民間等委託井)一覧表

規制区域		規制区域外	
区分	箇所数	区分	箇所数
津島市	3	瀬戸市	1
稲沢市	6	尾張旭市	1
弥富市	5	半田市	1
愛西市	7	常滑市	1
あま市	4	東海市	1
大治町	2	大府市	1
蟹江町	2	知多市	1
飛島村	3	豊明市	1
一宮市	9	阿久比町	1
江南市	4	東浦町	1
岩倉市	1	南知多町	1
北名古屋市	4	美浜町	1
清須市	4	武豊町	1
扶桑町	2	岡崎市	2
大口町	2	碧南市	2
豊山町	1	刈谷市	2
春日井市	4	安城市	2
犬山市	2	西尾市	10
小牧市	2	知立市	1
		高浜市	1
		幸田町	1
		豊橋市	15
		豊川市	2
		蒲郡市	2
		田原市	3
(規制区域内計)		(規制区域外計)	
19市町村	67箇所	25市町村	56箇所
県内他機関観測井戸合計		44市町村	123箇所

資料－４（１） 平成 22 年地下水位・地盤収縮量変動状況（尾張地域）

1) 県設置観測井水位変動状況

区分		井戸数	水位上昇数	無変動	水位下降数	変動量
尾張	G 1 層	20 (20)	16 (18)	0 (0)	4 (2)	0.14 (0.16)
	G 2 層	21 (21)	18 (21)	1 (0)	2 (0)	0.21 (0.39)
	G 3 層	23 (23)	22 (23)	0 (0)	1 (0)	0.37 (0.57)
	不圧層	4 (3)	2 (3)	0 (0)	2 (0)	0.09 (0.07)
合計		68 (67)	58 (65)	1 (0)	9 (2)	0.24 (0.37)

注 1) 変動量は、年平均水位の前年比で、単位は m である。

注 2) () 内は、平成 21 年数値である。

2) 県設置観測井地盤収縮状況

単位：mm

区分		沈下計数	収縮数	無変動	膨張数	月間最大収縮量	年間最大収縮量	平均収縮量
尾張	G 1 層	13 (13)	11 (9)	2 (1)	0 (3)	-2.7春日 (-1.8春日)	-1.5稲沢 (-2.7稲沢)	-0.1 (-0.8)
	G 2 層	13 (12)	10 (3)	2 (0)	1 (9)	-2.0津島 (-3.2美和)	-1.7尾西 (-3.0美和)	-0.1 (0.0)
	G 3 層	14 (10)	11 (4)	1 (1)	2 (5)	-1.9津島・春日 (-1.6弥富)	-2.7稲沢 (-2.9津島)	-0.1 (-0.4)
合計		40 (35)	32 (16)	5 (2)	3 (17)	—	—	—

注 1) G 1、G 2、G 3 層とは、濃尾平野の砂礫層を指し、地表より順に第一、第二、第三砂礫層と称し、利用可能な地下水が多く含まれる地層。

注 2) () 内は、平成 21 年数値である。

注 3) 収縮量は、観測所内の沈下計により、地表面から各帯水層までの変動量を測定したものである。

注 4) 収縮量の値は、マイナス表示が「収縮」を表し、プラス表示が「膨張」を表す。

3) 他機関設置観測井(民間等委託井)水位変動状況

区分	井戸数	水位上昇 井戸数	無変動	水位下降 井戸数	無効数	変動量
第1規制区域	33 (34)	24 (28)	0 (0)	9 (6)	0 (0)	0.11 (0.50)
第2規制区域	28 (28)	19 (21)	0 (0)	6 (4)	3 (3)	0.24 (0.56)
第3規制区域	6 (6)	6 (5)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0.63 (0.23)
合計	67 (68)	49 (54)	0 (0)	15 (11)	3 (3)	0.21 (0.49)

注1) 変動量は、年平均水位の前年との比較で、単位はmである。

注2) 無効数とは、調査対象井戸を変更したため前年との比較ができなかった井戸の数を示す。

注3) ()内は、平成21年数値である。

注4) 規制区分については、以下のとおりである。(地盤沈下対策の章参考)

第1規制区域：津島市、稲沢市、弥富市、愛西市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村、清須市の旧清洲町部

第2規制区域：一宮市、江南市、岩倉市、北名古屋市、扶桑町、大口町、豊山町、犬山市の一部、小牧市の一部、清須市の一部

第3規制区域：犬山市、小牧市、春日井市

資料－４（２） 平成 22 年地下水位・地盤収縮量変動状況（西三河、東三河地域等）

1) 県設置観測井水位変動状況

区分		井戸数	水位上昇数	無変動	水位下降数	変動量
西三河	浅層	7 (7)	6 (3)	0 (0)	1 (4)	-0.01 (0.10)
	深層	7 (7)	6 (7)	0 (0)	1 (0)	0.46 (0.58)
合計		14 (14)	12 (10)	0 (0)	2 (4)	0.22 (0.34)

区分		井戸数	水位上昇数	無変動	水位下降数	変動量
東三河	浅層	5 (5)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0.36 (0.36)
	深層	5 (5)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0.89 (1.12)
合計		10 (10)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	0.62 (0.74)

注 1) 変動量は、年平均水位の前年比で、単位はmである。

注 2) () 内は、平成 21 年数値である。

2) 県設置観測井地盤収縮状況

区分		沈下計数	収縮数	無変動	膨張数	月間最大収縮量	年間最大収縮量	平均収縮量
西三河	浅層	6 (6)	5 (4)	0 (1)	1 (1)	-1.1碧南 (-1.9吉良)	-1.3西尾第二 (-1.3岡崎第一)	+0.1 (-0.6)
	深層	6 (4)	4 (1)	2 (0)	0 (3)	-1.5一色 (-1.4吉良)	-1.5一色 (-0.5吉良)	-0.1 (+0.8)
合計		12 (10)	9 (5)	2 (1)	1 (4)	—	—	—

区分		沈下計数	収縮数	無変動	膨張数	月間最大収縮量	年間最大収縮量	平均収縮量
東三河	浅層	1 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	-0.2豊橋第一 (-0.6豊橋第一)	+0.3豊橋第一 (-0.4豊橋第一)	+0.0 (-0.4)
	深層	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	-0.3豊橋第一 (-0.7豊橋第一)	-0.3豊橋第一 (+0.6豊橋第一)	+0.0 (+0.6)
合計		2 (2)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	-	-	-

注1) ()内は、平成21年数値である。

注2) 浅層と深層とは、同一観測所において2箇所の砂礫層で測定しているものの区分である。

注3) 収縮量は、観測所内の沈下計により、地表面から各帯水層までの変動量を測定したものであり、単位はmmである。

注4) 収縮量の値は、マイナス表示が「収縮」を表し、プラス表示が「膨張」を表す。

3) 他機関設置観測井(民間等委託井)水位変動状況

区分	井戸数	水位上昇井戸数	無変動	水位下降井戸数	無効数	変動量
瀬戸・尾張旭市	2 (3)	1 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0.31 (2.43)
知多地域	11 (13)	7 (12)	0 (0)	4 (1)	0 (0)	0.14 (0.61)
西三河地域	21 (28)	14 (26)	0 (0)	7 (2)	0 (0)	0.05 (0.80)
東三河地域	19 (21)	10 (16)	0 (0)	7 (5)	2 (0)	0.12 (0.68)
渥美地域	3 (4)	1 (3)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0.00 (0.08)

注1) 変動量は、年平均水位の前年比で、単位はmである。

注2) 「無効数」とは、調査対象井戸を変更したため前年との比較ができなかった井戸の数を示す。

注3) ()内は、平成21年数値である。

資料－５（１） 平成 22 年度地下水揚水量の内訳

単位：m³／日

地域		用途					
		工業	建築物	農業	水産	水道	計
規制区域	尾張	75,674	34,534	12,550	7,569	176,607	306,934
		(24.7)	(11.2)	(4.1)	(2.5)	(57.5)	(100.0)
		[223,371]	[91,867]	[58,034]	[39,594]	[276,215]	[689,081]
規制区域外	尾張知多	48,922	23,958	2,473	2,961	8,124	86,438
		(56.6)	(27.7)	(2.9)	(3.4)	(9.4)	(100.0)
	西三河	84,543	21,569	3,801	14,871	84,833	209,617
		(40.3)	(10.3)	(1.8)	(7.1)	(40.5)	(100.0)
	矢作古川流域	14,748	5,454	1,324	8,212	11,034	40,772
		(36.2)	(13.4)	(3.2)	(20.1)	(27.1)	(100.0)
	東三河	44,752	21,724	21,119	133,398	41,927	262,920
		(17.0)	(8.3)	(8.0)	(50.7)	(16.0)	(100.0)
計		253,891	101,785	39,943	158,799	311,491	865,909
		(29.3)	(11.8)	(4.6)	(18.3)	(36.0)	(100.0)

注 1) 尾張地域は、県民の生活環境の保全等に関する条例の規制区域 19 市町村。

注 2) 尾張知多地域は、規制区域外の尾張地域 4 市 2 町と知多地域 5 市 5 町。

注 3) 矢作古川流域は、西尾市の旧幡豆町を除いた地域。矢作古川流域の揚水量は、西三河地域の内数。

注 4) ()内は、用途別の割合を示す。(単位：%)

注 5) 尾張地域の []内は、用途別の許可量を示す。(単位：m³／日)

資料－５（２） 工業用水法及び県民の生活環境の保全等に関する条例に係る
事業所数及び井戸（揚水設備）数

平成 23 年 3 月 31 日現在

		事業所数 (カ所)	井戸（揚水設 備）数（本）	備 考
工業用水法		224 (232)	286 (295)	名古屋市 3 事業所 3 本を含む
県 条 例	規制区域内	2,204 (2,227)	3,584 (3,616)	吐出口断面積 6 cm ² 超
	規制区域外	1,731 (1,738)	3,269 (3,288)	吐出口断面積の合計が 19 cm ² 超 (水量測定器が必要な揚水設備)
	計	3,935 (3,965)	6,853 (6,904)	
合 計		4,159 (4,197)	7,139 (7,199)	

注) () 内は、平成 22 年 3 月 31 日時点の数値である。

資料－6 平成22年降水量の状況

平成22年の主要な気象観測所における月ごとの降水量及び年間降水量を資料表－1に示す。県内全域において、8月の降水量は平年値に比較し極端に少ない状況であったが、2月から4月にかけての降水量は平年値を大幅に上回った。年間降水量は、平年値を上回った。

名古屋地方気象台における年間降水量は前年の約113%、ほぼ平年並みであった(資料図－1)。

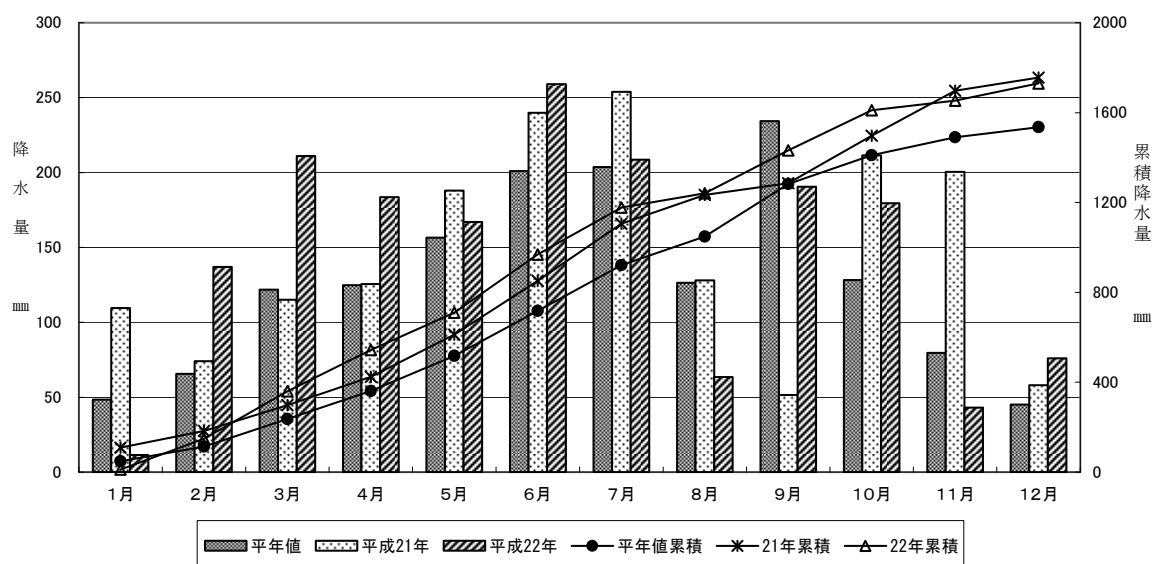
資料表－1 気象観測所降水量

単位：mm

区分	名古屋地方気象台		一宮地域気象観測所		一色地域気象観測所		豊橋地域気象観測所	
	平年値	平成22年	平年値	平成22年	平年値	平成22年	平成21年	平成22年
1月	48.4	11.5	57.9	29.0	47.4	12.0	113.5	18.5
2月	65.6	137.0	74.7	159.0	56.0	125.5	58.0	124.5
3月	121.8	211.0	133.7	197.5	111.9	202.0	127.0	216.5
4月	124.8	183.5	145.5	234.0	117.0	135.5	132.0	156.0
5月	156.5	167.0	185.5	240.0	147.8	114.0	299.0	137.0
6月	201.0	259.0	227.0	307.5	181.4	163.5	239.0	179.5
7月	203.6	208.5	233.4	237.0	139.2	190.0	199.5	220.0
8月	126.3	63.5	145.7	136.5	118.0	66.0	112.0	76.5
9月	234.4	190.5	221.2	271.5	221.5	165.5	76.0	181.5
10月	128.3	179.5	126.6	175.0	143.1	229.0	197.0	263.0
11月	79.7	43.0	90.2	55.5	80.6	58.5	163.5	105.0
12月	45.0	76.0	51.4	107.0	43.8	58.0	45.0	77.0
年間	1535.3	1730.0	1686.4	2149.5	1409.9	1519.5	1761.5	1755.0

注1) 平年値とは、1981年～2010年の平均値

注2) 豊橋地域気象観測所は、平成17年11月を境に観測場所の移転、観測方法の変更、測器の変更など、いずれかの理由により観測データがこの前後で均質でない可能性があることから、平年値がないので平成21年値を掲載。



資料図－1 名古屋地方気象台での月別降水量と累積降水量

資料－ 7 西三河及び知多地域の地盤沈下調査結果

1 西三河地域

平成 22 年には水準測量を実施していない。

西三河地域の平成 21 年の観測結果は、前回の調査が平成 19 年のため、2 年間（平成 19 年 9 月 1 日～平成 21 年 9 月 1 日）の変動状況である。有効水準点 81 点の内、沈下点は 20 点でその割合は約 25% となり、平成 19 年（約 82%）と比較して減少した。また、1 年間に換算して 1cm 以上沈下した水準点はなく、沈下域はなかった。沈下点数の推移は資料表－ 2、資料図－ 2、年間地盤沈下域の面積と年間最大沈下量の推移（昭和 50 年～平成 21 年）は資料表－ 3、主要な水準点の累積変動状況は資料図－ 3 のとおりである。西三河地域では、平成 9 年以降 1cm 以上の沈下点は観測されておらず、沈下域は、昭和 60 年以降、平成 2 年を除いて生じていない。年間沈下量の大きい水準点は、資料表－ 4 のとおり西尾市吉良町吉田万田に設置されている水準点「A 3 5 8」であり、沈下量は 0.37cm であった。

また、最近 5 年間の累積沈下量の大きい点を資料表－ 5 に示す。年間沈下量の最も大きい西尾市吉良町吉田万田の水準点「A 3 5 8」は、最近 5 年間で 2.70cm 沈下している。

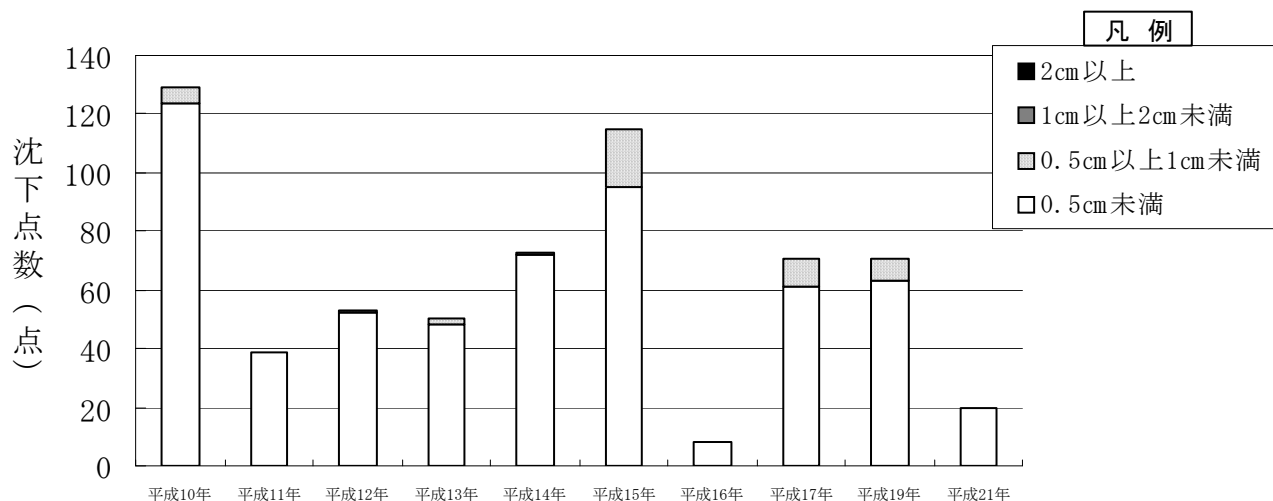
調査開始から平成 21 年までの累積沈下量が大きい水準点は、資料表－ 6 のとおり、西尾市吉良町白浜新田北切に設置されている水準点「A 2 0 0」であり、累積沈下量は 44cm となっている。

なお、西三河地域における累積沈下量のコンター図を資料図－ 4 に示している。

資料表－2 沈下を示した水準点の数（西三河地域）

単位：点

観測年		平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成19年	平成21年
有効水準点		183	168	169	176	176	141	101	87	87	81
沈下点数	0.5cm未満	124	39	52	48	72	95	8	61	63	20
	0.5cm以上 1cm未満	5	0	1	2	1	20	0	10	8	0
	1cm以上 2cm未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2cm以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	129	39	53	50	73	115	8	71	71	20



資料図－2 沈下を示した水準点の数（西三河地域）

資料表－3 年間地盤沈下域の面積と年間最大沈下量の推移（昭和50年～平成21年、西三河地域）

単位：km²

観測年 沈下量	昭和50年	昭和51年	昭和52年	昭和53年	昭和54年	昭和55年	昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	
1 cm以上	0	約3	約4	—	約8	約20	約64	約9	約16	約16	約0	約0	約0	約0	約0	約4	約0	約0	約0	約0	約0	約0	約0	約0	約0	約0	約0	約0	約0	約0	約0	約0	約0	約0	約0	約0
2 cm以上			約0	—	約0	約0	約10	約0	約0	約0						約0																				
3 cm以上				—		約0	約0																													
4 cm以上				—																																
最大 cm	0.7	1.6	2.3	—	1.2	3.1	3.5	2.7	2.7	2.4	1.1	1.5	1.7	1.35	1.69	2.20	1.11	0.67	1.41	0.92	1.01	1.27	0.93	0.75	0.36	0.55	0.64	0.52	0.95	0.39	0.91	—	0.83	—	0.37	

- 注1) 沈下域の面積で「約0」とは、沈下した水準点は存在するものの、沈下域の形成には至らなかったことを示している。
また、「0」とは、沈下した水準点も存在しないことを示している。
- 注2) 昭和53年、平成18年、平成20年は測量をおこなっていない。昭和54年、平成19年、平成21年の最大cmは、1年間に換算した変動量を示す。

資料表－4 年間沈下量ワースト5（西三河地域）

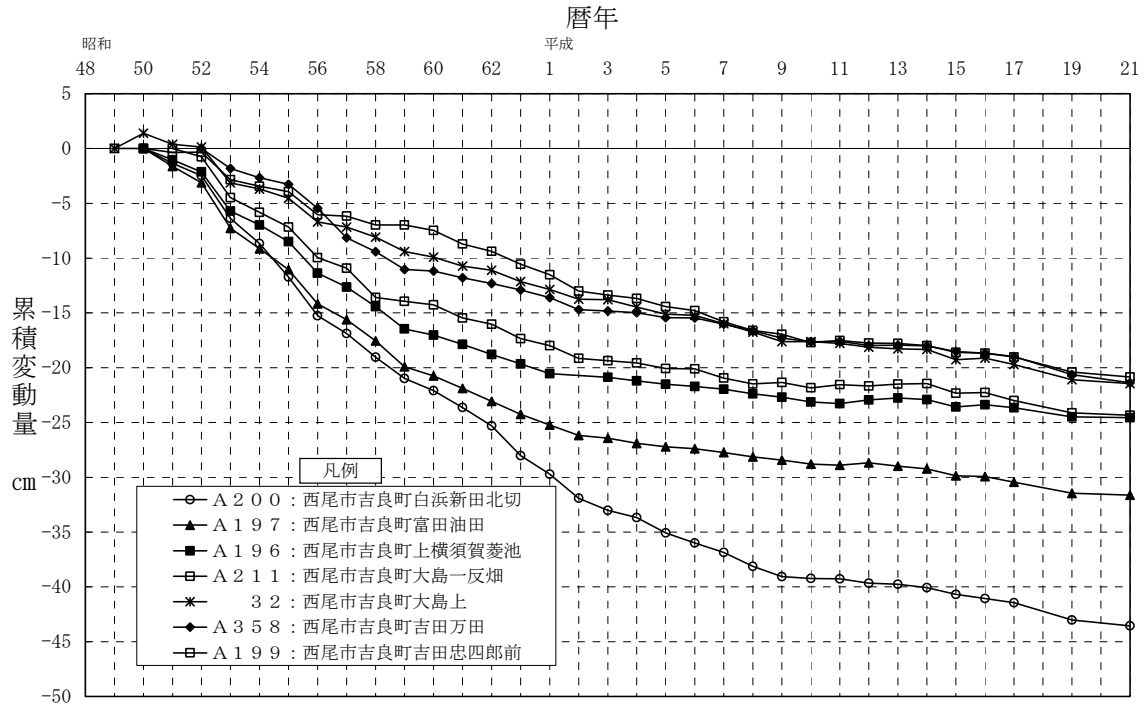
	水準点番号	所在地	沈下量(cm)
1	A 3 5 8	西尾市吉良町吉田万田	0.37
2	A 2 0 0	西尾市吉良町白浜新田北切	0.27
3	A 1 9 9	西尾市吉良町吉田忠四郎前	0.22
4	A 3 9 0	西尾市一色町一色東塩浜	0.22
5	1 6 6 - 1	岡崎市八帖町往還通	0.20

資料表－5 最近5年間の累積沈下量ワースト5（平成16年9月～平成21年9月、西三河地域）

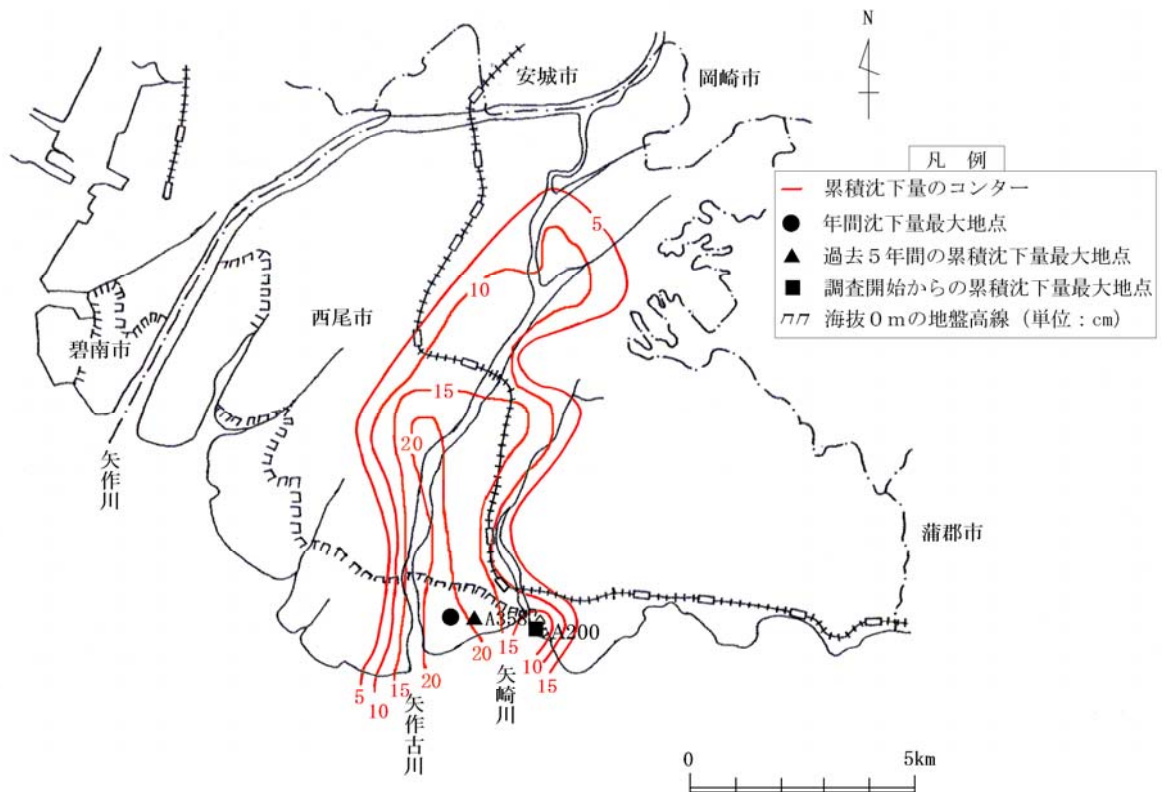
	水準点番号	所在地	沈下量(cm)
1	A 3 5 8	西尾市吉良町吉田万田	2.70
2	3 2	西尾市吉良町大島上	2.49
3	A 2 0 0	西尾市吉良町白浜新田北切	2.32
4	A 1 9 9	西尾市吉良町吉田忠四郎前	2.18
5	A 2 1 1	西尾市吉良町大島一反畑	2.08

資料表－6 累積沈下量ワースト5（調査開始年～平成21年9月、西三河地域）

	水準点番号	所在地	沈下量(cm)	標高 T. P. (m)	調査 開始年
1	A 2 0 0	西尾市吉良町白浜新田北切	43.56	+1.0340	昭和50年
2	A 1 9 7	西尾市吉良町富田油田	31.63	+1.2529	昭和50年
3	A 1 9 6	西尾市吉良町上横須賀菱池	24.56	+2.2479	昭和50年
4	A 2 1 1	西尾市吉良町大島一反畑	24.35	+0.0772	昭和51年
5	3 2	西尾市吉良町大島上	21.46	+4.5881	昭和49年



資料図-3 主要な水準点の累積変動状況（西三河地域）

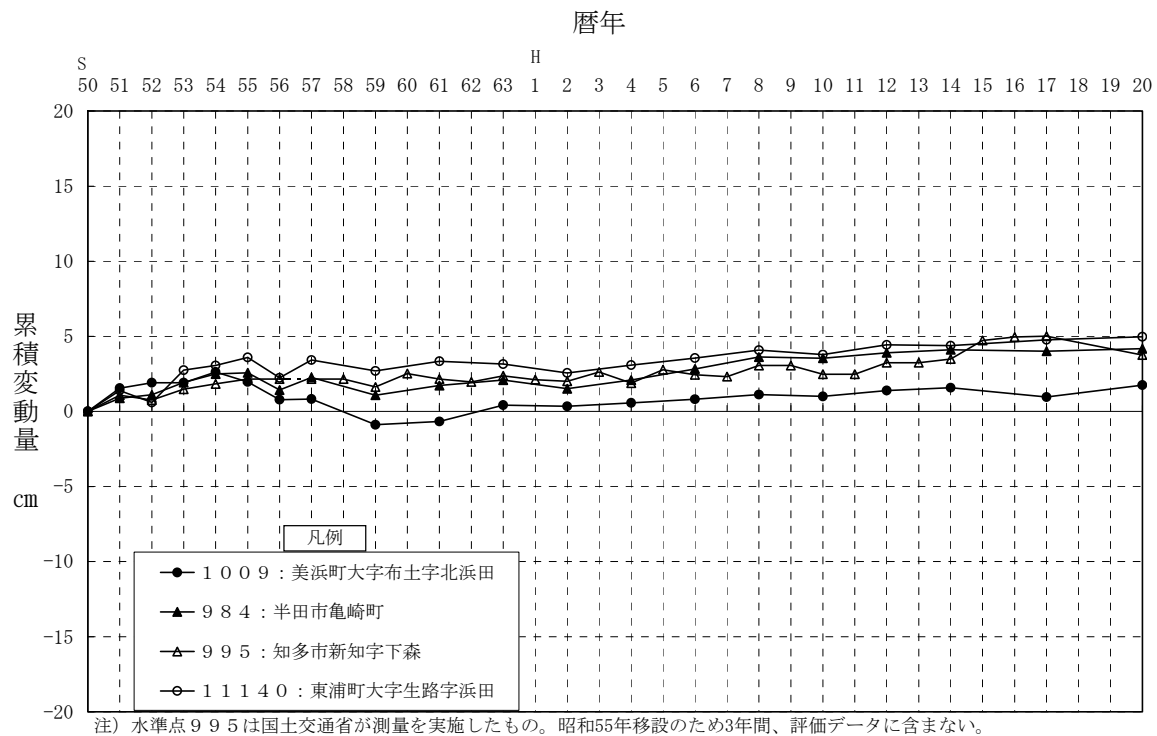


資料図-4 累積沈下量のコンター図（昭和50年～平成21年. 西三河地域）

2 知多地域

平成 22 年は水準測量を実施していない。

なお、最新の測量は平成 20 年であり、平成 20 年までの主要な水準点の累積変動状況は資料図-5のとおりである。



資料図-5 主要な水準点の累積変動状況（知多地域）